

令和3年度 札幌市がん対策部会（子宮がん対策）

議題1 「子宮がんの概要、札幌市子宮がん検診の現状」

1：子宮がんの概要

1-1：症状、リスク要因

1-2：統計（罹患）

1-3：統計（死亡）

2：札幌市子宮がん検診の現状

2-1：札幌市子宮がん検診

2-2：札幌市民の子宮がん検診受診率

2-3：札幌市がん検診無料クーポン利用実績

2-4：がん検診受診率実態調査

日時：令和3年11月12日 19：00

場所：札幌市保健所（WEST19）2階研修室A

1：子宮がんの概要①

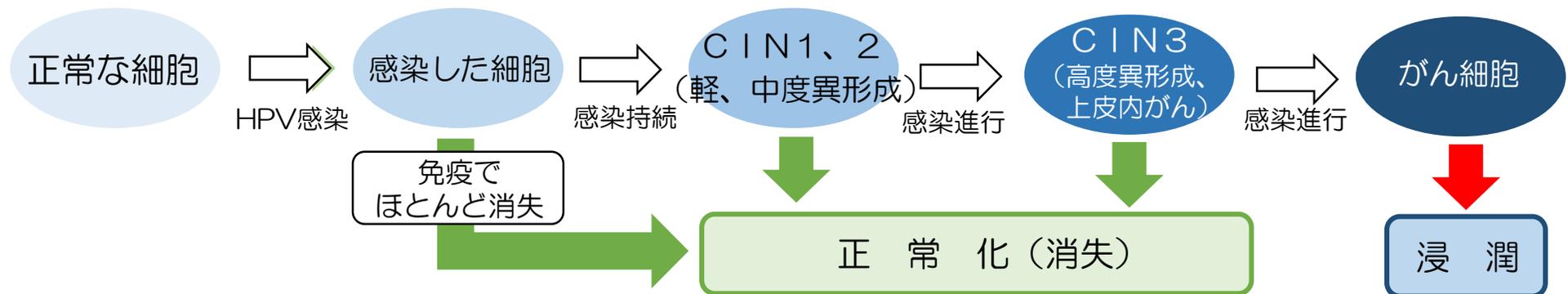
1-1：症状、リスク要因

子宮がんは発生する箇所で子宮頸がんと子宮体がんへと大別される。両がんは症状や原因が全く異なり、罹患や死亡の傾向にも違いがある

症状、リスク要因

	症状	リスク要因
子宮頸がん	進行する前（異形成時）は出血や痛みがない 進行すると出血や膿のようなおりものの増、下腹部や腰の痛み	リスクが高い型のHPV（ヒトパピローマウイルス）の長期間の感染
子宮体がん	不正出血、排尿時や性交時の痛み、下腹部の痛み、腹部の膨満感	エストロゲンの過剰分泌（タイプⅠ） エストロゲン以外の要因（タイプⅡ）

子宮頸がんの発症（イメージ）

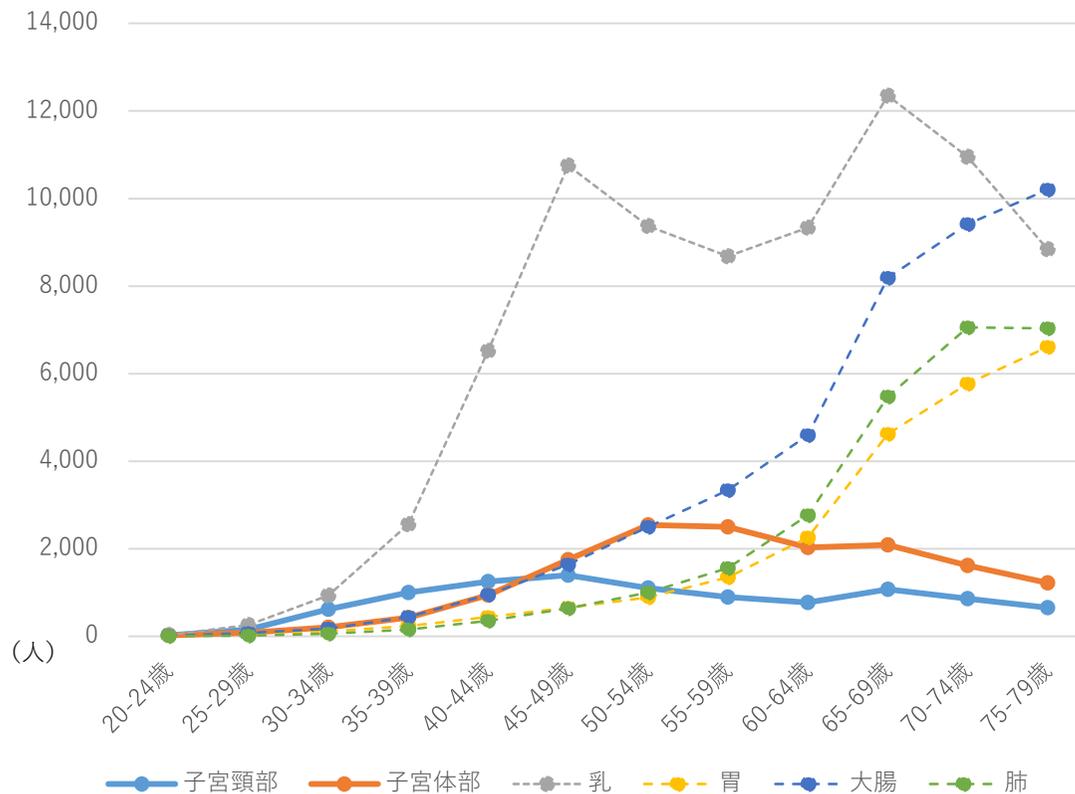


1：子宮がんの概要②

1-2：統計（罹患）

年代別罹患患者数（2018年）

(人)	全年齢	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳
子宮頸部	10,978	22	157	617	1,001	1,246	1,397	1,099	899	770	1,072	858	652
子宮体部	17,089	21	82	206	427	938	1,751	2,544	2,499	2,032	2,084	1,618	1,221
乳	93,858	27	260	933	2,561	6,518	10,756	9,369	8,680	9,333	12,352	10,953	8,846
胃	39,103	9	47	107	237	440	654	889	1,346	2,257	4,621	5,767	6,605
大腸	65,840	17	71	174	438	950	1,637	2,502	3,337	4,594	8,190	9,415	10,202
肺	40,777	5	13	58	156	351	636	1,000	1,560	2,761	5,473	7,059	7,036



全年齢の罹患患者数は子宮頸がん、子宮体がんの合計で28,067人
乳がん、大腸がん、肺がん、胃がんに次いで5番目

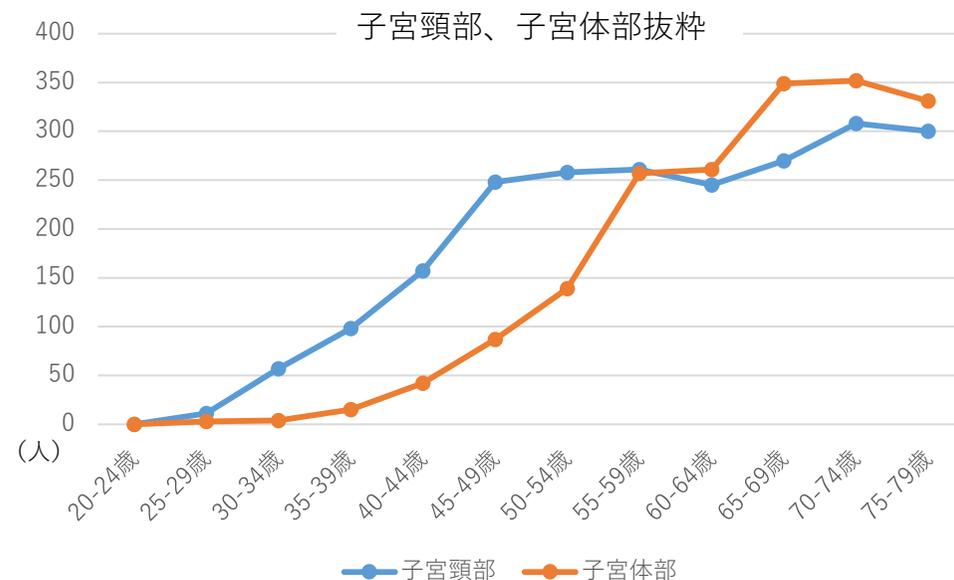
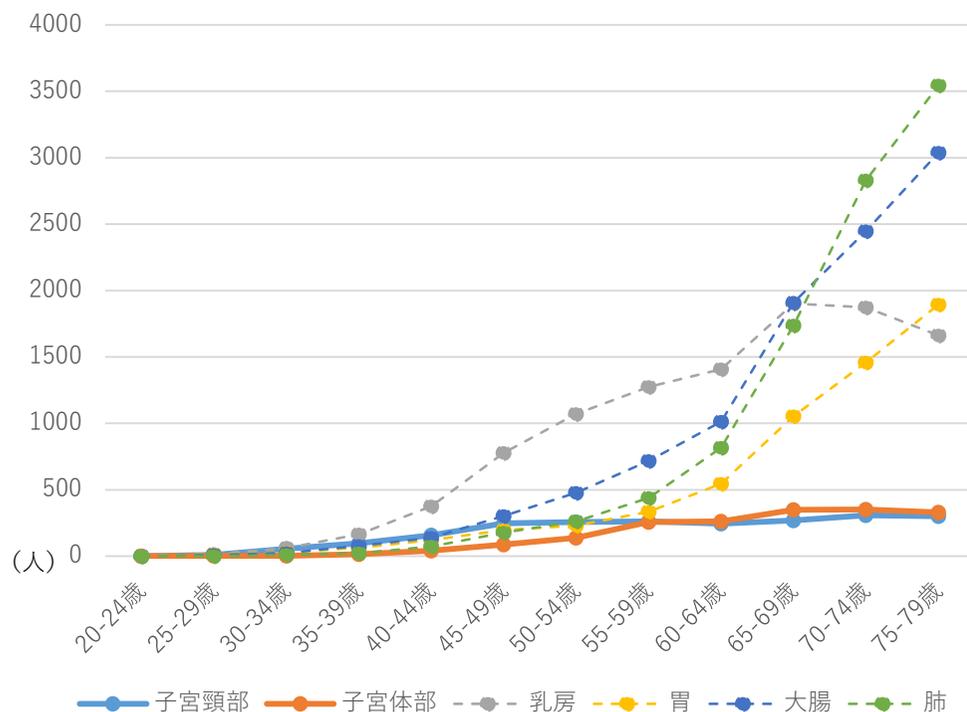
子宮頸がんは20歳代後半から30歳代にかけて増加。40歳代がピーク
子宮体がんの増加は30歳代、ピーク50歳代
高齢になるにしたがって減少
子育て世代から発症が増加する

1：子宮がんの概要③

1-3：統計（死亡）

年齢別死亡者数（2019年）

（人）	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳
子宮頸部	0	11	57	98	157	248	258	261	245	270	308	300
子宮体部	0	3	4	15	42	87	139	257	261	349	352	331
乳	1	15	60	165	375	777	1,071	1,275	1,409	1,902	1,874	1,663
胃	1	15	30	64	121	196	231	334	546	1,055	1,459	1,895
大腸	1	11	25	78	138	304	477	717	1,014	1,909	2,448	3,039
肺	0	1	11	21	74	178	263	439	816	1,737	2,830	3,545



子宮頸部は罹患者の増加が早い分、死亡者も早い年代から増加する傾向が見られる

2：札幌市子宮がん検診の現状①

2-1：札幌市子宮がん検診

2-1-1 検査内容

検査項目	対象
<ul style="list-style-type: none"> ・問診 ・視診 ・子宮頸部の細胞診 ・内診 必要によりコルポスコープ検査	①住所要件 ・札幌市内に居住地を有する方 ②年齢要件 ・受診日当日に20歳以上で、原則偶数年齢の方※ ※直前の偶数歳時に札幌市子宮がん検診を受診しなかった奇数歳の方は受診可 ③他の検診制度と関連する要件 ・職場で受診する機会のない方 ・妊婦一般検診を受診していない方※ ※直前の偶数歳や同一年齢時に妊婦一般検診を受診していた場合は受診不可

実施方法	自己負担額
個別検診のみ （指定の医療機関及び札幌がん検診センター） 集団検診は実施していない	○実施医療機関 1,400円 （医師の判断で子宮体部の検診を実施した場合は2,100円） ○札幌がん検診センター 1,100円 （医師の判断で子宮体部の検診を実施した場合は1,700円）

- ・検診結果の区分 ベセスダシステムにより分類したうえで、精密検査の必要性の有無を決定する。検体が不適正であった場合には、再度子宮頸部の細胞診を実施する。

2-1-2 検査実施機関

- ・札幌市医師会が指定する医療機関（85医療機関 令和3年4月21日現在）
- ・札幌がん検診センター

2-1-3 国の指針で定める子宮がん検診

検査項目	対象	受診間隔
問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診 （必要によりコルポスコープ検査）	20歳以上の女性	2年に1回

厚生労働省 がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針

2：札幌市子宮がん検診の現状②

2-2：札幌市民の子宮がん検診受診率

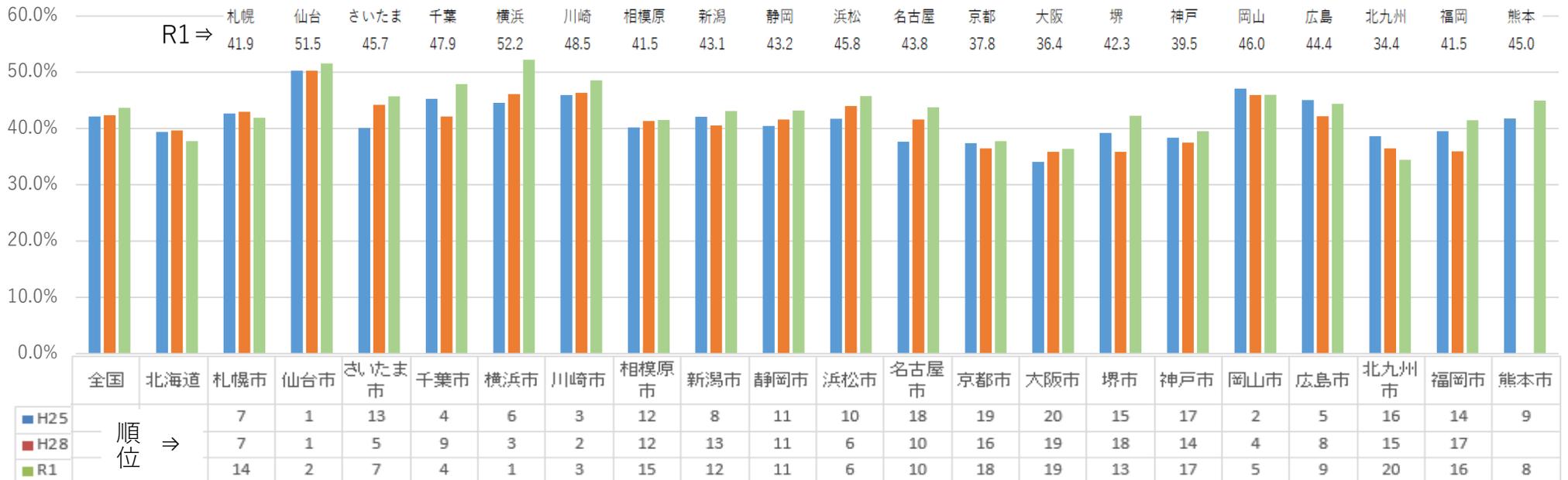
2-2-1 札幌市民の子宮がん検診受診率（国民生活基礎調査※1）

	胃がん 40～69歳 (R1は50～69歳)		大腸がん 40～69歳		肺がん 40～69歳		乳がん 40～69歳		子宮がん 20～69歳	
	全国	札幌市	全国	札幌市	全国	札幌市	全国	札幌市	全国	札幌市
平成25年	39.6%	38.0%	37.9%	35.1%	42.3%	37.4%	43.4%	42.3%	42.1%	42.7%
平成28年	40.9%	38.9%	41.4%	38.2%	46.2%	38.5%	44.9%	41.4%	42.3%	43.0%
令和元年	49.5%	48.6%	44.2%	42.6%	49.4%	45.5%	47.4%	43.4%	43.7%	41.9%

※1 国民生活基礎調査
厚生労働省による基礎調査
3年毎にがん検診受診状況を調査

胃、大腸、肺で継続的な向上が見られる
乳、子宮については伸び悩み
若しくは減少の傾向が見られる

2-2-2 政令市子宮がん検診受診率（国民生活基礎調査ベース）



2：札幌市子宮がん検診の現状③

2-3：札幌市がん検診無料クーポン利用実績

無料クーポン利用率の推移

	平成28年度	平成29年度	平成31年度	令和元年度	令和2年度
子宮 20歳	13.1%	10.6%	11.9%	12.4%	17.3%
乳 40歳	14.8%	29.5%	30.0%	26.1%	33.8%

乳、子宮はそれぞれ40、20歳に無料クーポンを発行しているが、利用率は乳は20～30%、子宮は10%台に留まり、受診の動機づけによるがん検診の受診を促進するというクーポンの目的を十分に果たせていない状態である

令和2年度はクーポン利用率が向上している。未利用者にハガキによる再勧奨を行っているが、令和2年度よりハガキにクーポンを添付し、再交付の手間を省いたことが一因として考えられる

週刊保健衛生ニュース (令和3年8月16日)より抜粋

厚生労働省健康局は「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」で実施している子宮頸がんの初年度対象者へのクーポン券等の配布について、見直す方針を固めた～

クーポン券の利用率は全国平均8.7%と一割に満たない状況にある～

利用率が低い原因として、「20歳の方ががん検診の必要性等について十分な理解がない可能性」「居住地と住民票が異なる等の理由により、クーポン券が本人の手元に速やかに届いておらず、利用の機会を逃している可能性」が考えられる～

特に子宮頸がん検診について、クーポン券の効果を高める方策について検討する必要がある

2：札幌市子宮がん検診の現状④（市民アンケート結果）

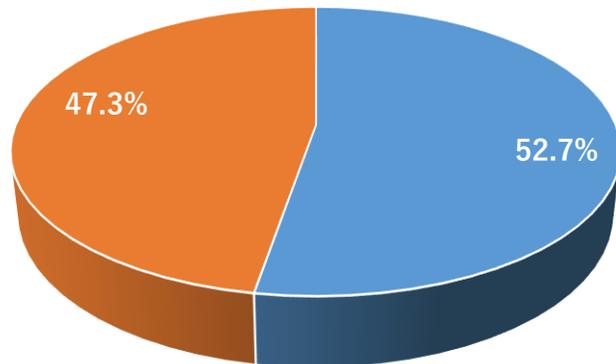
2-4：がん検診受診率実態調査

2-4-1 アンケートの概要

名 称	がん検診受診率実態調査事業		
概 要	がん検診の実態と受診率に関連する要因の分析と、受診率向上を図るための施策につなげる基礎資料とすることを目的に実施		
実施時期（回答方法）	令和2年8～10月（調査表の返送、web）		
調査対象者、人数	20～69歳の女性：4,000人	40～69歳の男性：3,000人	合計：7,000人
回答者数、回答率	女性：1,357人（33.9%）	男性：906人（30.2%）	合計：2,265人（32.4%）

2-4-2 アンケート結果（受診の有無）

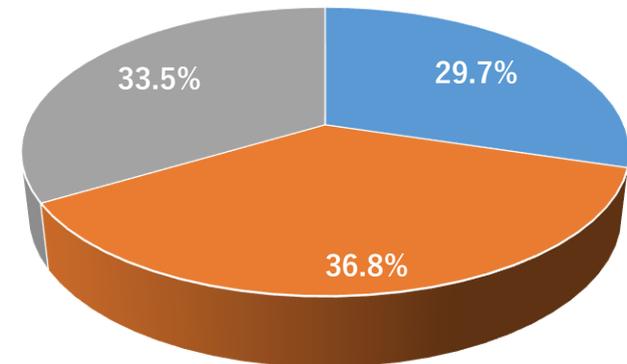
	人 数	受診率
受けた	713人	52.7%
受けなかった	639人	47.3%



■ 受けた 713人 ■ 受けなかった 639人

2-4-3 アンケート結果（受診の機会）

	人 数	率
札幌市がん検診	205人	29.7%
勤務先の検診	254人	36.8%
その他	231人	33.5%



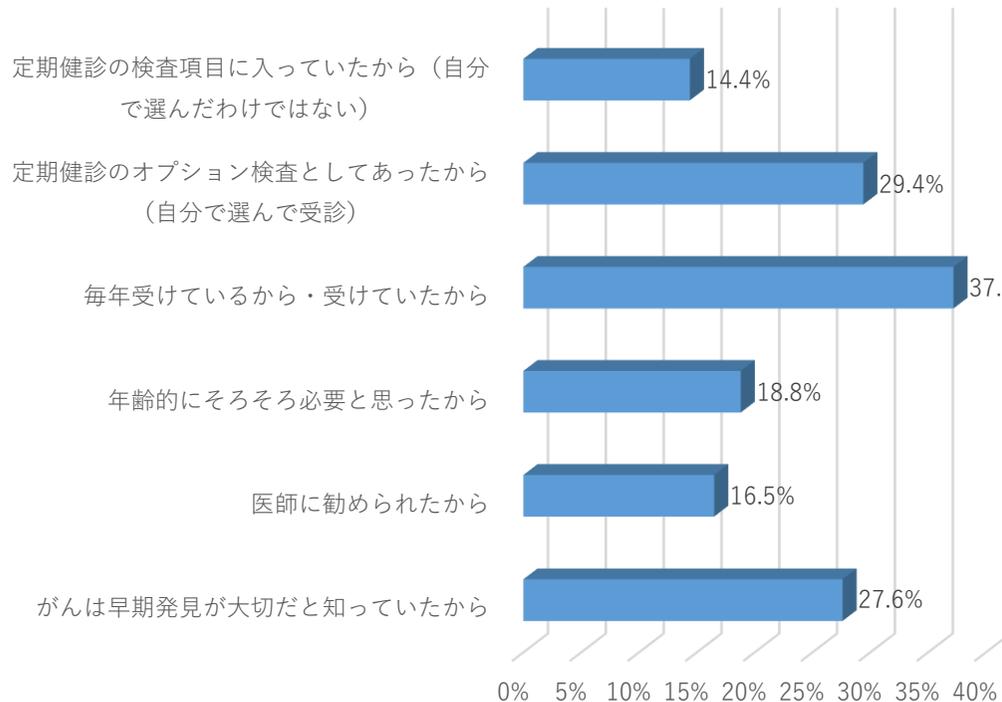
■ 札幌市がん検診 205人 ■ 勤務先の検診 254人 ■ その他 231人

2：札幌市子宮がん検診の現状④（市民アンケート結果）

2-4-4 受診した理由・きっかけ（複数回答）

	回答数	率
定期健診の検査項目に入っていたから（自分で選んだわけではない）	102	14.4%
定期健診のオプション検査としてあったから（自分で選んで受診）	208	29.4%
毎年受けているから・受けていたから	263	37.2%
年齢的にそろそろ必要と思ったから	133	18.8%
医師に勧められたから	117	16.5%
がんは早期発見が大切だと知っていたから	195	27.6%

10%以上抜粋



2-4-5 受診しなかった理由（複数回答）

	回答数	率
定期健診の検査項目に入っていなかったから	174	27.4%
検診・検査の案内がなかったから	91	14.3%
心配になれば医療機関にかかれば良いと思っていたから	157	24.7%
健康診断や検診・検査を受ける時間がなかったから	78	12.3%
健康診断や検診・検査を受けるのが面倒だったから	76	12.0%
検診に費用がかかるから	119	18.7%
検査内容が怖い・不快だから	93	14.6%
その他	128	20.2%

10%以上抜粋

